

研究区分	教員特別研究推進（地域振興）
------	----------------

研 究 テーマ	プロ野球本拠地球場の開場に起因する観光変容を主とした町への影響				
研究組織	代 表 者	所属・職名	経営情報学部 経営情報学科 ・教授	氏名	内海 佐和子
	研究協力者	所属・職名		氏名	
		所属・職名		氏名	
		所属・職名		氏名	
	発 表 者	所属・職名	経営情報学部 経営情報学科 ・教授	氏名	内海 佐和子

講演題目
プロ野球本拠地球場の開場に起因する地域への影響
研究の目的、成果及び今後の展望
【研究目的】 かねてより静岡市が取り組んできたプロ野球地元球団創設構想によりプロ野球球団（NPB）の誘致に成功し、2024 年静岡市を本拠地とするくふうハヤテベンチャーズ静岡が 66 年ぶりにプロ野球 2 軍のウェスタン・リーグに新規参入した。本拠地は清水区に建つ清水庵原球場である。この誘致に際し市が実施した市民アンケートによると庵原球場の本拠地化には 70%が賛成であった一方、球場周辺の交通渋滞と球場周辺の迷惑駐車が懸案事項の上位となった*1。*1 https://www.city.shizuoka.lg.jp/000969094.pdf そこで類似事例とし、2023 年 3 月に北海道北広島市で開場した北海道ボールパークを対象とし、開場初年度よりこの開場に起因する周辺地域への観光変容を主とした変容実態および、町への影響を把握する調査を行っている。両球場は、1. 周辺地域が既存の市街地ではない、2. アクセスする公共交通機関が乏しい、3. 新規で NPB の本拠地球場になったなどの複数の共通点がある。加えて、庵原球場で懸念されている球場周辺の交通渋滞、球場近辺の迷惑駐車が北海道ボールパーク周辺では開業 1 年目にして発生し問題が顕在化している。よって、先行する類似事例である北海道ボールパークの周辺地域へ観光変容を主とした変容実態および町への影響を把握することで、将来的に来場者の増加が予想される庵原球場周辺域への今後の計画に対する知見を得ることを本研究の目的とする。 【研究成果】 本研究は 2023 年度に一般研究経費により始まった。2024 年度、2025 年度は教員特別研究推進費を得て、現地での観察調査をベースに北広島市役所関係各課との情報交換、北広島市民との意見交換、利用経験のある道民に対するヒアリング調査などを実施した。そこから、1. 町の変容が起こり難い一因は利用者の交通手段および行動パターンによること、2. 路上駐車されやすいエリアが複数存在すること、3. 路上駐車の一因は一般的に言われている北海道ボールパークの駐車場のシステムとは無関係であること、4. 路上駐車が多発は観戦後の周辺域の渋滞に対する嫌悪感も要因であることを把握した。なお、ふじのくに地域・大学コンソーシアムの令和 6 年度ゼミ・研究室等地域貢献推進事業助成金の課題「くふうハヤテベンチャーズ静岡ホームゲーム魅力創出プロジェクト」の提案時には、本研究で得た知見が役に立った。 【今後の展望】 数年のうちに、北海道ボールパーク近辺に新駅および高層マンションが、順次竣工する。そうすると観戦客の利用交通手段および動線、周辺の商業集積が変化すると予測されるため、観察調査を継続し、町の変容実態、町への影響および、その要因を把握し続ける必要がある。